岡山県立倉敷天城高等学校

理数科ニュース

第２号
R６年８月発行
発行：理数科

特別ラボ研修　海岸調査（児島 大畠周辺）

実施日：７月２９日（月）８：４０～１２：２０
場　所：大畠周辺の海岸（倉敷市大畠２丁目２）
講　師：洲脇　清　先生

特別ラボ研修の第１日目は、瀬戸内海の環境調査を実施しました。最初に、「瀬戸内海の環境変化」という内容で倉敷地域の瀬戸内海がどのように変化してきたのかを間近で見てこられた洲脇先生に話して頂きました。干拓農業、三菱航空機制作工場、水島コンビナート、瀬戸大橋などの建設によって変化してきた様子や最近はマイクロプラスチック問題、里山の荒廃などによって環境が大きく変化している様子を教えて頂きました。また、近年話題になっている温暖化の問題もあり、大量発生したクラゲやカサゴの卵巣の成熟時期が早まり、今まで見られなかったクジメなどの変化についてお話を伺いました。その後、海岸調査に向かいました。生息する生物を観察するとともに、指標生物による環境調査を行いました。これは、「瀬戸内海環境保全知事・市長会議、瀬戸内海研究会議」が行っている「瀬戸内海の海岸生物調査マニュアル」によって実施しました。最後に、各班から調査の結果を発表し合い、観察会を終了しました。

瀬戸内海の環境変化についての講義

海岸観察の様子

海岸観察の様子

海藻を熱湯に浸けてみる

海藻の光合成の仕組みについて聞く

観察・調査の結果を発表する